

## 令和4年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

新型コロナウイルス感染症は、校外学習や行事の中止など、子どもたちの成長にとって大切な多くの体験や学習の機会を失わせました。今後は、各学校・園では行事等の意義や内容を精査した上で、児童・生徒の経験値として欠かすことのできない体験活動は、計画した年度を越えて再実施することとしています。

子どもたちの感染予防に重点をおき、これまで見合わせてきた授業や行事への保護者参観の機会も、感染予防対策の徹底とともに、時間帯や日を学年ごとに分散して設定したり、ICTを活用した参観方法を採用したりするなど、工夫して実施を計画しています。学校・園の取組を理解し、子どもたちの学習の様子や成長を実感できる機会として、感染状況を見ながら順次再開していく方向で計画を立てています。

また、市内の中学校の生徒会が、厳しい状況に置かれているウクライナの人々への人道支援として、卒業式の機会を活用して生徒や保護者へ募金を呼びかける活動を行いました。この行動は、身の回りで起こる事象ときちんと向き合い、自分たちでできることを考え、周りの人々と協力し、具体的な行動を起こして問題解決に取り組んでいこうとする力が具現化された姿として、高く評価されるものです。

瀬戸内市は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）が進める世界的な「難民を支援する自治体ネットワーク」に賛同する署名を行いました。UNHCRでは、難民支援や多文化共生について、子どもたちを対象にした教材

の開発や人材派遣にも取り組まれています。子どもたちは、学校でも発達段階に即して国内の問題を中心に人権の課題や平和を維持することの大切さを学んでいますが、国外で起こっている事象に対しても広く視野を広げて課題に取り組む姿勢を育てるために、UNHCRと連携した学習機会について積極的に検討していきたいと考えています。

学校・園の教育活動を適切に維持しながら、身の回りにある感染症の課題や人権侵害の問題を、自らの課題として真摯に向き合い、周りと協働して取り組むことのできる子どもたちの育成に、直接指導に当たってくださる先生方とも知恵を出し合って取り組んでいきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

#### ○ 学校施設整備について

国府小学校校舎大規模改造Ⅰ期工事は、計画通り、夏休み中の完成に向け、普通教室棟の外壁・内装工事を進めています。Ⅰ期工事終了後、特別教室・職員室棟のⅡ期工事を行う予定です。また、学校トイレ環境整備については、これまでの整備も含め、令和3年度末には、洋式化・乾式化率が約70%になりました。計画終了の令和6年度に向け、今年度も引き続き改修工事を実施していきます。

#### ○ 自立支援室の増設について

令和3年度に開設した邑久中学校に続き、今年度は牛窓中学校、長船中学校に自立支援室を開設しました。利用の状況は、1日あたり3～5人程度で、これまで教室への入室や登校が出来にくかった生徒が利用しています。自主学習や読書などの個別活動やグループ活動、場合によってはICTを活用した授業配信を視聴し、別室から授業を受ける等自分で活動を選択する

ことに取り組んでいます。生徒同士や自立相談員、支援員との継続的な関わりを通して人間関係づくりや、それぞれの課題に即した支援の方法を模索しながら、開設の目的である一人一人の社会的自立に向けた課題を共有した育成を図っていきます。

#### ○ 適応指導教室「のぞみ」について

不登校児童生徒の学習を支援する機関として市の青少年育成センターに併設している適応指導教室「のぞみ」については入室希望者の増加や一人一人の課題に即した活動内容を確保する上で課題が生じています。現在の適応指導教室は、邑久コミュニティセンターの一部を利用していますが、使用できる部屋が限られ、就労による社会的自立や登校再開に向けた支援等、多様化する利用者や相談者への対応を充実するためには、現在の施設、指導員等の配置、指導体制では、適切に答えることが厳しい状況にあります。

現在も学校はもちろん、自立支援室の相談員やひきこもりサポートセンターの公認心理師と情報交換を行って取組を進めていますが、将来的には、相談者や利用希望者への支援や活動の幅を広げることが可能な、支援機能の集約や分散、独立した施設の設置が必要と考えており、県内外での状況や取組の情報を収集するとともに時代が求める適応指導教室のあり方を明確にし、その実現について研究していきます。

#### ○ 図書館について

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、5月14日から6月20日まで、及び8月20日から9月30日まで臨時休館しました。これにより市民図書館の来館者数は、前年度比15.6%減の11万2,847人で、1日平均504人となりました。

また、図書館全体での個人貸出冊数は、前年度比5.8%減の29万5,

631冊となりましたが、臨時休館した月以外は、各月とも前年度より貸出冊数が増えており、依然として貸出利用の需要は高い状態が続いていると考えています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和4年6月6日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行